

学校だより 西山から版

令和7年4月発行② No.2

学校の今をお知らせします

名古屋市立西山小学校

電話(052)-701-5181

<https://www.nagoya-c.ed.jp/school/nishiyama-e/>

若葉の緑が鮮やかな季節になってまいりました。新しい学級にも慣れ、友達と学習したり、外で遊んだり、楽しく学校生活を送る子どもたちの姿が様々な場面で見られます。

運動会の保護者の参観について

運動会は、低学年（1～3年生）が午前、高学年（4～6年生）が午後に運動場に出て、各種目に取り組みます。他の学年は、教室で学習に取り組んだり、テレビで運動場の様子を見たりします。

保護者の皆様にも、お子様の頑張る様子をご覧いただきたいと思います。以下の点にご留意いただき、児童、保護者、地域の皆様が気持ちよく運動会に臨むことができるよう、ご協力をお願いします。



○ 保護者の参観人数に制限は設けません。後日配付します「運動会参観者申請のお願い」に、当日参観される方のお名前を記入していただき担任へ提出してください。申請に基づき、「運動会用の参観者名札」を配付します。

○ テントを設置したり敷物を敷いたりしての参観はご遠慮ください。

○ 三脚を利用したビデオ撮影等は、周囲の皆様の迷惑にならないようにしてください。また、競技中の学年の保護者の方が見やすくなるよう、場所をお譲りください。

※ 運動会の詳しい内容は、後日配付します。

学級写真の注文について

学級写真・職員写真はインターネットによる注文販売としています。写真販売の方法につきましては、準備ができ次第、お知らせします。

【セキュリティ強化の対策】

- IDとパスワードをランダムな英数字で設定します。後日、お伝えしますので、西山小の保護者以外の方に知られないようご注意ください。
- インターネットで販売された写真は、一旦、業者から学校に納品され、担任を通してお子様に配付します。そうすることで、西山小の保護者以外は写真を購入できない仕組みにしています。

【インターネット販売の留意点】

- 撮影日に欠席したお子様は、後日、写真の左上に個人写真を挿入しますが、サンプルには挿入されません。

熱中症予防のための配慮事項について

今後は、日ごとに気温が上昇していくことが予想され、熱中症対策が必要です。そこで、以下のように対応していきますので、ご承知おきください。

○ ネッククーラーを着用してもよいこととします。

- ・ 水にぬらして使用するタオル状のもので、必ず記名をお願いします。保冷剤を入れるものは、溶けたら下校時に使用できないのでお控えください。また、充電式のもの等、機械類も控えてください。

○ お茶等の水分を多めに持たせてください。

- ・ 水筒の中身は原則お茶とし、量を多めに持たせてください。ただし、その日の気候や学校での活動内容を考慮して、必要な場合のみ、経口補水液やスポーツドリンクを持たせていただくことは構いません。
- ・ スポーツドリンクは糖分が多いため、水で薄めることをお勧めします。
- ・ 様々なアレルギーをもった児童がいますので、スポーツドリンク等を友達にあげたり友達からももらったりしないよう、ご家庭でもお話しください。

○ 登下校時に日傘を使用してもよいこととします。

- ・ 傘を使用していない周りのお子さんとの接触に十分に気を付けるように、ご家庭でもご指導をお願いします。

※ 塩分タブレットの摂取は、気温がさらに高くなった場合に、下校前に教師の指導の下で摂取することを検討します。その際は、改めてお知らせします。

学校努力点について

学校努力点とは、名古屋市立学校の教育活動の一般方針である学校教育の努力目標に基づき、各学校の児童の実態や地域の実情などに応じて設定した、学校運営の指針です。

本年度、本校では、以下のような学校努力点のテーマを掲げ、子どもたちの力が伸びる授業づくりに取り組んでいきます。

生き生きと学び、学び合う児童の育成 ～学習を振り返り、自らの学習を調整する姿を目指して～

名古屋市では、昨年度より「ナゴヤ学びのコンパス」という新たな教育の方針の下での教育活動が始まりました。「ナゴヤ学びのコンパス」では、「子ども中心の学び」を「幼児期」から「青年期」まで一貫していくことを大切にしています。そして、「ゆるやかな協働性の中で自律して学び続ける」子どもを目指し、「自分に合ったペースや方法で学ぶ」「多様な人と学び合う」「夢中で探究する」姿を大切にしたい授業づくりを目指しています。

西山小学校では、一昨年度から「ナゴヤ学びのコンパス」を基にした授業改善に取り組んでいます。これまでの成果と課題を踏まえ、昨年度に重点を置いた、「自分に合ったペースや方法で学ぶ」姿を引き続き目指すとともに、学習の自己調整にも焦点を当てて取り組みを進め、生き生きと学び、学び合う児童の育成を目指していきます。「学習の自己調整」とは、自己の学習を振り返り、学習の進め方について試行錯誤することです。

学校での取り組みは、学校日より等でお知らせしていきます。